

— 令和5年度卒業式 式辞 —

校庭の木々の芽にも、確かな春の息吹が感じられる今日、この佳き日に、ご来賓の方々、並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、兵庫県立芦屋国際中等教育学校第16回卒業証書授与式を挙げていただけますことは、卒業生はもとより、在校生、職員にとりまして、大きな喜びでございます。

本日、ご臨席を賜りました皆様方には、平素より、本校教育活動に深いご理解と温かいご支援をいただき、さらには、巣立ちゆく卒業生の門出に華を添えていただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与しました、74名の皆さん、卒業おめでとうございます。本校の教育課程を修了し、めでたく卒業の日を迎えることができましたことは、一人一人が、たゆまぬ努力を積み重ねてきた結果であります。その努力に、心から賛辞を送ります。

本校での6年間、いかがでしたか。受験の日のことは覚えていますか…合格を確認できたときの気持ちを覚えていますか。そして、日々の授業、日本語の勉強、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、校外学習、文化祭、体育大会、スポーツ大会、ようやく宿泊を伴って沖縄へ…これら数多くの活動を、深いご縁で結ばれた友達、多くの先生とともに、30を超える国と地域にルーツを持つ、多文化、多言語の環境下で実践してこられました。

まさに今、先行きが見通せないVUCAの時代に求められる、タフな「総合的人間力」獲得に、国内でほとんど類を見ない、貴重な教育環境が整った芦国で取り組まれてこられたというわけです。

皆さんが在学された6年間の間、国内外においてもさまざまな出来事がありました。米朝が初の首脳会談、「平成」から「令和」の時代へ、消費税率が8%から10%へ、新型コロナウイルスの感染拡大による全国一斉臨時休校、緊急事態宣言に蔓延防止等重点措置、「鬼滅の刃」が大ヒットし社会現象に、1年遅れでの東京オリンピック・パラリンピック、安倍元首相銃撃事件、ロシアがウクライナへ軍事侵攻、世界の総人口が初めて80億人を突破し、最も多い国が中国からインドに、先日は、34年ぶりに日経平均株価の史上最高額が更新…

スポーツ界では、ラグビーワールドカップ日本大会で、日本が初の8強入り、チームスローガン「ONE TEAM」は、新語・流行語大賞に、ワールド・ベースボール・クラシックでは、「侍ジャパン」が14年ぶり3度目の優勝、大谷翔平選手が、メジャーリーグでホームラン王など大活躍、そしてご結婚。

加えて、将棋界では藤井聡太さんが、史上初の八冠、前人未踏のタイトル戦20連勝…などなど

ただ、この6年間、国内だけでも、大阪北部地震、北海道胆振東部地震、

西日本豪雨、九州豪雨と、毎年のように自然災害に見舞われました。そして、ちょうど2ヶ月前、今年、元日に発生した能登半島地震に至っては、まだまだその傷跡が生々しく残っている状況です。余りにも悲惨で無情な出来事です。

これらさまざまな出来事に触れながらの6年間、時には大きな勇気と感動をもらったり、また、時には「命」の大切さ、尊さを確認されたことだと思います。そして、卒業後の進路を真剣に模索する中、「自らの人生の目的」「人が生きる意味」とは何なのかということについても、少しずつ考えるようになってこられたのではないのでしょうか。

今日は、私から、皆さんへの最後のメッセージ、特にお伝えしたいことを3点お話しさせていただきます。

最初にお伝えしたいこと…「命」、そして「親孝行」について…

今から約137億年前の「ビッグバン」による「宇宙」の誕生、約46億年前に、この「地球」が誕生、その地球上に「生命」が誕生したのは、約38億年前、深海での単細胞微生物が最初であったと考えられています。

そこから途方もない時間が経過した、今からおよそ700万年前、ようやく、「人類」がアフリカで誕生し、その後、いくつもの種に枝分かれし、誕生と絶滅を繰り返しながら進化してきました。わかっているだけでも、およそ20種もの「人類」が地球上に暮らし、時には複数的人类種がすみわけて共存し、あるいは熾烈（しれつ）な生存競争を繰り返していたと考えられています。

そして、その進化のバトンを受け継ぐ、最終ランナーとして登場したのが、私たち…ラテン語で、「賢い人間」という意味をもつ「ホモ・サピエンス」です。

やがて、ほかの「人類」は全て絶滅し、「ホモ・サピエンス」は地球上で唯一の「人類」として生き残ったわけです…この壮大な時間の流れの中で、幾世代にもわたり、「命」の炎が一度も途切れることなく連綿と続き、皆さんは、十数年前に、ご両親からこの世に生を受けられました。皆さんの身体の中には、幾百万、幾千万という、ご先祖の連綿たる「命」の炎が燃えているのです。

また、皆さん、昨夜は何を食べられましたか？今朝は何を食べられましたか？…かわいい牛の「命」を、豚の「命」を、鶏の「命」を、元気に泳ぐ魚の「命」を、野菜もすくすく育ち、確かな「命」を持っています。数えきれない数の「命」を、まさに、“いただき”、私たちは、今、ここに、自らの「命」を維持することができているのです。私たちの「命」の中には、無数の動植物の、尊い「命」が内在し、そこで生き続けているのです。

皆さんの、身体の中で燃える、幾千万もの、ご先祖の連綿たる「命」と、

動植物からいただいた数え切れない数の「命」への「感謝」を思えば、軽々に、「私なんかいない方がいい」「生きていきたくない」など、言えるでしょうか。すでに私たちの「命」は、自分だけに属するものではなく、関わりを持つすべてのものに属するものなのです。全力で、「感謝」の心で、天寿を全うすることこそ、受け継ぎ、いただいた尊い「命」に報いる、唯一の道ではないでしょうか。

“最大の親不孝”は、この「命」を、ご両親、保護者より先に失うこと、そして、“最大の後悔”は、この世のステージに立たせてくれたご両親、保護者の方に、孝行、恩返してきていない内に、ご両親、保護者を失うことです。

皆さん、今日は、大きな親孝行、おじいちゃん孝行、おばあちゃん孝行、家族孝行をしています。孝行を重ねてください。「孝行は百孝の本（もと）」、すべての善なる行いの基本であります。

ただ、皆さんの中には、既に、大切な身内を亡くされている人もおられることでしょう。お墓参りをしてください。手を合わせ、お話ししてください。その方のことを思い出し話題にしてください。私は、肉体が減びても、「意識体」は「魂」として残ると信じています。本当の「死」とは、誰からも思い出されず、話題にされず、手を合わせてくれる人が一切なくなった時であり、そうでない限り、その方は「生きている」のです。本校を立派に卒業されたことも、是非、手を合わせてご報告してください。

次にお伝えしたいこと…「一番大切なこと」、そして「本物」に向かって…

皆さん、私たちに、「一番大切なこと」、言い換えれば、「最高の価値を置くべきこと」は何でしょうか。「学歴」でしょうか、「職業」でしょうか、「役職」でしょうか、「外見」でしょうか、「財産」でしょうか、「年収」でしょうか…「一番大切、最高の価値を置くべきこと」…これだけは間違っ
てはいけません…これは、“人として”どうであるのか、「人格」「人間性」「人物」「人柄」、この点のみです。ここが“本（もと）”であり、学歴や職業、役職、外見、財産、年収などなどは、“末（まつ）”なのであります。この“本末”が転倒したならば、人間社会は、崩壊の道をたどる他ないので

この6年間だけでも、私たちは、世の中の多くの、立場ある人、また世界に名だたる大企業の「不正」をニュースで見してきました。その立場の持つ大きな責任、その立場への周囲の大きな期待に、「人格」「人物」が追いついていないケースを多く知らされました。

皆さん、全ては、「人」なのです。

スマートフォンは、誹謗中傷などを送りつけるために開発されたものでは

ありません。匠が作り上げる見事な包丁は、人を刺すためのものではありません。世界最高権威であるノーベル賞、アルフレッド・ノーベルが発明したダイナマイトは、人を殺傷するためのものではありません。ロケットは、核弾頭を搭載するためのものではありません…人は、これまでも、これからも、素晴らしく新しいテクノロジーを次々に生み出すことでしょう。「AI：人工知能」の進歩がもたらす世界は、我々の創造をはるかに越えることでしょう…ここで、絶対的に求められるのが、それを扱う人間自身が、「人として」どこまで練り上げられているか、『人格』『人物』はいかなるレベルであるのか、ということでもあります。

どれだけ「徳」を積み、人の「喜び」、「怒り」、「哀しみ」、「楽しみ」、「苦しみ」を知り、他の人に“思いやりの心”を持って接することができ、また「感謝」の気持ちを抱ける人なのか、そして、磨き上げた自らの軸、揺るがぬ物差しで、清濁入り交じるこの世の中で遭遇するさまざまな出来事、行い、発言を、「“人として”正しいのか、正しくないのか」を計り見抜き、「正しい」と判断したことを、勇気を持って貫くことができるのか…

花の命が「香り」であるなら、人の命は「徳」を身に付けているか否かなのです。造花に「香り」はありません。表面だけみつくり、実践の伴わない、ことばだけを並べる人に「徳」の香り…にじみ出るエネルギー・オーラは感じられません。

ただ、皆さんが、人生を歩む中、自らの「魂」を磨き、「心」を高めようとしたとき、必ずや様々な苦勞、ストレスと出会うことになります。ここが分かれ道です…苦勞、ストレスを、自らの“磨き砂”、絶好のチャンスと捉える回路を備えておいてください。そして、何とか突破し、かっこ良くなくていいのです、何とか突破し、前進してください。苦勞、ストレスを、最高の栄養として取り込んでください。

汗もかかず、足も運ばず、資料を読み込むこともなく、スマホでググり瞬時に入手した情報は、決して、知識、見識に深まることはなく、瞬時に失われるでしょう。同様に、心に汗をかき、積み重ねた苦勞こそが、皆さんの血となり肉となり、確かな「人格」を形成し、多くの人の信頼を得ることにつながるのです。

世の中で、「どのような人が信頼できるのか？」という問いの、最も正確な答は、「苦勞を重ねてきた人」ということでもあります。「若い時の苦勞は買ってでもせよ」との古くからの教えは、不変の真理なのです。

時々、立ち止まって自らに問うてください。他人のことを問うのではありません。自らに、心の耳『心耳』を澄ませて問うてください。「我は、『感謝』の心を忘れず、『魂』を磨く日々を過ごしているか？」「『心』を高める努力をしているか？」「人としてどうであるのか」「我は本物か」…

奇跡的にも人としていただけた「命」、本気で生きる“覚悟”を決め、大

自然を含む、人知を超えた偉大な力への畏敬の念を決して忘れず、謙虚な心で「徳」香る「本物」の人物、「徳人」に向かい、確かな歩みを続けてください。ならば、必ずや、心豊かで幸多き人生が約束されるのです。

最後にお伝えしたいこと…「宇宙全体の法則」、「真の幸せ」、そして皆さんの「人生の使命：ライフミッション」について

2024年、令和の時代が進む今もなお、世界を見渡すと、宗教や文化、民族の違いなどを理由に、憎しみと報復の連鎖、戦争、紛争が続いています。

幼く、何の罪無き子どもを含む、悲しみで泣き叫ぶ多くの人の姿を、ニュース映像を通して目にし、皆さん、どのような気持ちになりましたか？

数え切れないほど多くの、最も尊い人の「命」を奪い合う行為で、互いに、いったい何を手に入れたというのでしょうか。誰が幸せになったというのでしょうか。

「素粒子」のみ存在した宇宙が、約137億年前の“ビッグバン”を経て「原子」を生み、「分子」が育まれ、やがて「高分子」ができ、人類のような「高等生物」までも生み出した…このダイナミックな進化が証明するように、この世の流れ、言い換えれば、「宇宙全体の法則」というものは、善き方向、正しい方向、進化発展の方向へ進むとするものなのです。それに逆流する状況に遭遇したとき、人には不快で不幸せな気持ちが沸くよう創られているのです。人は「笑顔」、「幸せな姿」に快適な気持ちを抱くように創られているのです。他の人の幸せを願い、それがかなったとき、自らも幸せな気持ちになる、「利他の心」を互いに持ち合い、力を合わせ幸福な社会を形成するよう創造されている、表現を変えれば、人類が滅亡しないよう、そのようにプログラムされているのです。

「世界三大聖人」と評される、儒教の開祖「孔子」、仏教の「お釈迦さん」、キリスト教の「イエス・キリスト」は、人類にとって最も大切であることについて、孔子は「恕」の心、いわゆる「思いやり」を、お釈迦さんは「慈悲」を、イエス・キリストは「愛」を説かれました。宗教的天才が、人類にとって最も大切であると述べたことは、皆、共通し且つ「宇宙全体の法則」に合致していることに気づかされます。

これらは、「人生の目的」「生きる意味」にも通じます。卒業後の進路に悩む中、考えた人もいることでしょう…「人生の目的」「生きる意味」とは、いったい何なのか。

私は、「人生の目的」「生きる意味」とは、「この世に、両親から、地球上に約870万種もの『生命』が存在していると言われる中、奇跡的にも『人』としていただけた『命』に深く感謝しながら、自らの『魂』を磨き、『心』を高め、獲得した力で、たとえささやかであっても、世のため人のた

めに貢献するよう努めること」だと固く信じています。

「世のため人のために貢献する」…実は、これこそが、私たち自身の最大の幸せ、「幸福感」につながり、「人」は社会的存在として「人格」を有した「人間」となることができるのです。

私たちは、自らの存在、発言、行いが、他の人の人生に役立ち、その人の幸せにつながったと実感できたとき、最大の「幸福感」が得られるよう創られているのです。他の人から「ありがとう」のたった一言で、とても幸せな気持ちになるよう創られているのです。

そして、戦場で、人の「命」を奪い合う行動を起こす時ではなく、災害地のボランティアに奔走する大勢の人を見てもわかるように、「困っている誰かのために！」と行動するときこそ、エネルギーが満ち溢れるよう創られているのです。

皆さん、本校のスクールミッションを思い出してください。芦屋国際中等教育学校の存在意義、その使命は、「Respect：尊敬、Integration：融和、そして、Contribution：貢献」であります…言語や文化の異なる者が相互啓発により、共に生きる心を備え、地球規模での多文化共生社会を実現できる人材の育成なのです。

校歌にも刻まれています…「拓け未来、我らの時代、ともに世界に羽ばたこう」「輝け命、友情の花 ともに世界に咲かせよう」「We come together to create a new age：力を合わせて新しい時代を創る」…まさに、地球規模で世界平和にも直結するものなのです。

世界の国・地域の関係の糸が、複雑に絡む現代にあって、この崇高なミッションを掲げる芦国で、6年間学ばれた皆さんの“心の庭”には、人類が求める、数多くの大切な種が蒔（ま）かれています。しっかり育み育て、宗教や文化、民族などの違いで争うのではなく、互いを敬い、違いを認め調和し、力を合わせて新しい時代を創る、人類の発展に貢献していくリーダーとしての道を歩み続けてください。

芦国のミッションは、今日からは、皆さん一人一人の「人生の使命」、ライフミッションとなるのです。

一人一人の意識、一步一步の取り組みが積み上がり、周囲の人へ受け継がれ偉大な力となり、必ずや地球上から、「宇宙全体の法則」に逆流する、人類で最も愚かな行為、国家権力による「命」の奪い合いが一掃される時が必ず訪れるのです。

私は、皆さんの大いなる可能性を信じています。国内外さまざまな分野での活躍が楽しみでなりません。今日まで、「小さな地球」、芦国で蓄積された巨大なエネルギーを「ビッグバン」させ、これからは、実物大の地球を意識の中心に据え自己実現に向かい、「利他の心」で、深く尊い、「真の幸せ」を掴み取ってください。

物事の真理を見つめ、自分一人だけの利益「我利」ではなく、皆が幸せになる方向へ努力したならば、物事は必ず成就します。なぜなら、それが「宇宙全体の法則」であるからです。私たちは皆、宇宙の一員なのです。

保護者の皆様方、本日は、誠におめでとうございます。大切なお子様は、18歳、世界の先進国、日本国家が認める成人となられ、そして、本日、名門、兵庫県立芦屋国際中等教育学校を卒業されます。

ここでの6年間は、成長・変化の激しい時期であり、お子様の健やかな成長を願って支えてこられた皆様には、さぞや、ご苦労も多かったことでしょう…立派な子どもさんを育てられましたね。斜に構えず素直で心優しい、誰からも愛される人柄の持ち主ばかりで、私は大好きです。将来、保護者、ご家族の皆様が年老いていかれても、優しくしっかりと支えてくれることでしょう。うらやましい限りです。

職員一同、心よりお慶び申し上げますとともに、今日まで本校にお寄せいただきました深いご理解と多大なるご支援・ご協力に、改めて感謝申し上げます。

また、ご多用の中、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様には、重ねてお礼を申し上げますとともに、今後とも、本校の教育にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さあ、卒業生の皆さん、いよいよ出発の時です。

兵庫県立芦屋国際中等教育学校、ここでの確かな取組、思い出、そして多くの友は、生涯にわたり、皆さんを励まし支える、心の「お守り」となることでしょう。

それぞれの道で、それぞれの“持ち前”で胸を張り、正々堂々と、正面突破で進んでいってください。

そして、この世に生を受けた直後から、“エンジェルスマイル”で周囲の人を幸せにしてこられたように、国境も人種をも越える、コミュニケーションの第一歩、素敵な“笑顔”で周囲の空気を明るくする存在となってください。

それでは、希望に満ちた出発の日にあたり、この学び舎を巣立ちゆく卒業生の皆さんの、前途に幸多からんことを心から祈り念じ、式辞といたします。

令和6年3月1日

兵庫県立芦屋国際中等教育学校 校長 川崎 芳徳